

報告日 令和7年11月28日
報告回次 1回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-----------|--------------------------|--------|-------|-----------|--------------|
| 団体名 | 堺市教育委員会 中央図書館 | | | 代表者名 | 南 健次 |
| 担当者部署(属性) | その他 | 担当者部署名 | 総務課 | 連絡先電話番号 | 072-244-3811 |
| 担当者役職 | 管理係 | 担当者氏名 | 深澤 泰宏 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 590-0801 大阪府堺市堺区大仙中町18-1 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

| | |
|-------|---------|
| 団体名 | 連絡先部署 |
| 担当者氏名 | 連絡先電話番号 |

1-3. 支援を求める内容

| | | | | | | | | |
|----------|--|-----|-------------------|--|--|--|--|--|
| 支援方法 | 職員向け啓発・研修（単独） | 事業名 | 市内図書館のデジタルサイネージ導入 | | | | | |
| 概要 | 市立図書館でのデジタルサイネージ機器導入に伴い、デジタルサイネージ機器の有効活用方法や職員のデジタルリテラシーを向上させ、地域住民に対し有益な情報提供をおこなうための研修を実施したい。 | | | | | | | |
| 支援を求める分野 | 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 教育情報化／情報教育 デジタルアーカイブ／図書館 | | | | | | | |

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| 対応日・時間 | 期日・支援内容の変更あり | 受付番号 | 変更後の派遣日 | 変更後に実施した支援内容 | 実地/オンライン |
|--------|---------------|-------------|---------|--------------|----------|
| | 無 | | | | |
| | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | 令和7年11月19日 | 事前打合せ(実地) | 14時00分 | 17時00分 | |
| | | | | 活動時間（分） | 180 |

| 派遣場所 | 会場名 | 最寄駅 | バス（大仙西町） |
|------|-----|--------------|----------|
| | 所在地 | 堺市堺区大仙中町18-1 | |

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|------------------------------|--|
| アドバイザー | 栗津 千草 |
| 評価 | 大変良い |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に） | 前日に届いたデジタルサイネージ本体の、IPアドレス設定やパスワード変更など、初期設定を共におこなっていただき、機器利用の初期段階を理解することができました。このことにより、各館の担当者に初期設定の方法を、伝えることができました。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 12月の研修では、デジタルリテラシー・著作権・肖像権の注意事項とともに、デジタル媒体で告知する際のデザインや、留意すべき点についても伝えてほしいと思います。 |

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| 4-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | | 合計人数 | 1人 |
|----------------|-------------------------|-------|------|-------|
| | 属性 | 自治体職員 | 住民 | 企業・団体 |
| | | 人数 | 1 | 0 |

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

| | |
|----------------------------|--|
| 事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) | 令和7年11月、市立図書館7館にデジタルサイネージ機器を導入し、静止画による多様な情報発信と動画の放映を予定しています。 地域住民の方にさらに親しみやすく・わかりやすい情報発信を幅広くおこなえるよう、職員のデジタルリテラシーの向上と、デジタル機器の効果的な活用をするため、職員が特性を理解し、有効に情報を発信できるスキルとともに、発信時の注意点を学ぶことが求められています。 |
| 支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい) | デジタルサイネージを通じて住民に対して、市立図書館のより豊かな情報提供をおこなうことから始め、ステップバイステップで地域の情報ハブとしての役割も担えるよう運用を進めていく計画です。これにより、地域住民のコミュニティの場としての図書館をさらに活用いただき、つながりが生まれ、興味や学びの場が拡充される場所になることをめざします。そのために、まずは令和7年12月末までに、運用する職員がデジタルリテラシーを身につけ、導入直後の運用と、定期的な更新をおこなえるようにします。 |

| | |
|---|--|
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | 今回は研修内容の策定と、デジタルサイネージ本体の初期設定について支援を受けました。研修内容は、著作権・肖像権をふくめたデジタルリテラシーと、発信におけるデザイン・ルール、デジタル化することの意義について盛り込んだ構成になるよう、打ち合わせをおこないました。 |
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | デジタルサイネージ本体の初期設定において、ネットワーク設定をおこなうことで、パソコンを使用しての配信ファイルのやりとりをおこなえるようになりました。 |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない デジタルサイネージ本体の初期設定を行うことで、研修の準備ができました。 |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 特にありません |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は事前打ち合わせのため、特にありません。 |
| 4-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものリストより選択下さい ①予算は確保済みであり、年度内に推進する 令和7年12月末までに、運用する職員がデジタルリテラシーを身につけ、導入直後の運用と、定期的な更新をおこなえるようにします。 |
| 4-4. 事業の最終的な目指す姿 | 令和7年12月末までに、導入直後の運用と、定期的な更新を実施、その後段階的に発信の幅を広げ、地域住民の皆さんに役立つ情報を、デジタルの利便性を活用して届けられるよう、運用ルールなどを策定していきます。 |

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

